

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

第151回 定期演奏会

#151 Subscription Concert

第5回 大阪定期演奏会

#5 Subscription Concert in Osaka

日本音楽界、 本年最大の“事件”!

G.ホルスト Gustav Holst

吹奏楽のための第一組曲

First Suite in E flat for Military Band, Op.28-1

芳賀 傑 Takashi Haga

水面に映るグラデーションの空

Le Ciel dégradé se dissout à la surface de l'eau

P.グレインジャー/F.フェネル 校訂

Percy Grainger / Frederick Fennell

リンカンシャーの花束

Lincolnshire Posy

保科 洋 Hiroshi Hoshina

吹奏楽のための交響曲第3番 [TKWO 委嘱新作]

Symphony No.3 for Symphonic Band

[Commissioned work by Tokyo Kosei Wind Orchestra]

東京
公演

11/7 2020 Sat

開演:14:00 (開場:13:00)

東京芸術劇場
コンサートホール

69th
Anniversary
Tokyo Kosei Wind
Orchestra

大阪
公演

11/8 2020 Sun

開演:15:00 (開場:14:00)

The Symphony Hall

指揮

大井剛史
(正指揮者)

Takeshi Ooi, Conductor

演奏 東京佼成ウインドオーケストラ
Tokyo Kosei Wind Orchestra

東京公演
のみ

創立60周年記念!
期間限定!

S60割引 3600円

60歳以上の方は、
【S席】を40%引きで
お求めいただけます。

お席の場所はお任せいたします。
(限定枚数販売)
お取り扱い:
TKWOチケットサービス

チケット
料金

(全席指定・税込)

第151回定期演奏会
《2020/1/22発売》

S席 ¥6,000 A席 ¥4,500 B席 ¥3,500 C席 ¥1,500
U25割引 ¥2,000 各種割引《TKWOチケットサービスのみでの取扱》 団体・車いす・身体障害者手帳をお持ちの方には割引がございます。※割引の併用はできません。

第5回大阪定期演奏会
《2020/7/8発売》

S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 B席 ¥3,000

▼東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

チケットの
お申し込み



お電話

0120-692-556

(9:30-16:30/土・日・祝を除く)



FAX

03-5341-1255



メール

ticket@tkwo.jp

▼WEBチケットサービス

いつでも予約可能!



座席指定

クレジット決済

コンビニでの支払・発券が可能!



※定期メンテナンス:毎日3:00-4:00

▶プレイガイド

●チケットぴあ Pコード:164-577(第151回)、164-544(第5回大阪)
●ローソンチケット Lコード:31693(第151回)、51487(第5回大阪)
●e+ (イープラス)

東京公演のみ ●東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

大阪公演のみ ●ザ・シンフォニー チケットセンター Sinfonia会員先行発売:2020年5月21日(木)
06-6453-2333(10:00~18:00/火曜定休) http://www.symphonyhall.jp/

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催: 佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ、ザ・シンフォニーホール(11/8)

後援: 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、公益財団法人日本音楽教育文化振興会、

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人日本吹奏楽普及協会、株式会社日本コロムビア、株式会社テレビマンユニオン、公益財団法人としま未来文化財団(以上11/7)

東京佼成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155 https://www.tkwo.jp/



日本音楽界、本年最大の”事件“！

富樫鉄火（音楽ライター）

東京佼成W.O.の桂冠指揮者、フレデリック・フェネル（一九四〇～二〇〇四）は、一九五〇年代に、米マッキュー・レーベルから、吹奏楽曲のLPを次々とリリースした。演奏は、イーストマン・ウインド・アンサンブル。本格的な商業録音としては初めて世に出る曲も多かった。特に、名プロデューサー・ウィルマゴザートによる、真空管内臓式チューブマイク「ノイマンU47」一本のみで拾われた音は、モノラルなのに「いま、そこにいるよう」（リヴィング・グループ・プレス）とまで評された。これらの名盤で吹奏楽のイメージは、大きく変わったのだ。

なかでも評価が高かったのが、グスタヴ・ホルスト（一八七四～一九三四）の《第一組曲》《第二組曲》、そして、バーシー・クレインジャー（一八八二～一九六二）の組曲《リンカン・シャーマンの花束》である（特に後者は「レコード誕生二〇〇年間の名盤ベスト五〇」の二枚に選出された）。

いま、フェネル亡きあと、これら歴史的な名曲を、大井剛史が、ふたたび世に問おうとしている。一九〇九年初演のホルスト曲、一九三七年初演のクレインジャー曲。ともに、ほぼ二〇〇年前の音楽だ。

では、約二〇〇年を経たいま、日本では、どのような吹奏楽曲が生まれているのだろうか。

そのひとつが、芳賀傑の《水面に映るグラデーションの空》だ。二〇一八年に、フランス・リールで開催された、第六回ク・ド・ヴァン国際交響吹奏楽曲コンクールにおいて、第二位と聴衆賞を受賞した、最新曲である。東日本大震災（二〇一〇年）や、バリ同時多発テロ事件（二〇一五年）の犠牲者を悼む曲で、作曲者が尊敬する真島俊夫に捧げられた（ちなみに真島は、《鳳凰が舞う》で、上記同コンクールでグランプリを受賞している）。

そして、筆者が本稿を綴っているいま現在も書き進められていると思われるのが、日本音楽界の重鎮にして至宝、保科洋の新作《交響曲第三番》だ。保科は、一九九六年に、指揮者・木村吉宏の委嘱で、《交響曲》を書いた。それから三〇年後の二〇二六年、保科洋の八〇歳記念演奏会で《交響曲第二番》が初演された（下野竜也指揮、広島ウインドオーケストラ）。

八〇歳で新作の交響曲を発表したことに敬意を表するが、八四歳になつてさらに第三番を生む、そのエネルギーには、言葉が失う。第二番は、「吹奏楽編成で書かれた交響曲の最高傑作」の評価さえあった。東京佼成W.O.創立六〇年の年に、そして、ホルストやクレインジャーの楽曲が生まれてから約二世紀を経た年に、どのような音楽が届けられるのだろうか。これは、日本音楽界、本年最大の”事件”である！（敬称略）

大井剛史（正指揮者）

Takeshi Ooi, Conductor



©K. Miura

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、99年同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。96年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。2000年～2001年、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者。2007年～2009年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーとその誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。オペラの分野では、在学中より新国立劇場、東京二期会などのオペラ公演で副指揮者を務め、2002年「ペレアスとメリザンド」（ドビュッシー）を指揮しデビュー、以降多くのオペラ作品を指揮するほか、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」（バーンスタイン）も指揮。バレエの分野では「ロメオとジュリエット」（プロコフィエフ）などで新国立劇場バレエ団の公演を度々指揮、国内を代表するバレエ団やダンサーが一堂に会した「NHKバレエの饗宴」でも指揮を務めた。さらに、小松原庸子スペイン舞踊団や、野村萬斎、花柳壽輔、井上八千代といった日本舞踊界の名手たちと共演するなど、幅広い舞台芸術分野で活躍している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

保科 洋（作曲）

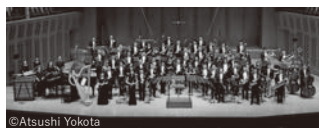
Hiroshi Hoshina



1960年、東京芸術大学作曲科卒、卒業作品にてその年の第29回毎日音楽コンクール作曲部門（管弦楽）で第1位を受賞する。以後、本格的に作曲活動を開始する。以後、東京音楽大学、愛知県立芸術大学、兵庫教育大学で教鞭をとり、2001年3月に兵庫教育大学を定年退職する。作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広いが、特に吹奏楽曲では日本を代表する作曲家の一人として知られ、作品のいくつかはアメリカでも課題曲に登録されるなど世界各国で演奏されている。特に2008年11月にイタリアで開催された国際ホルンコンクールにおいて本選の必須課題曲に「巫女の舞」（ホルン協奏曲）が選ばれ、世界各国のホルン奏者によって熱演された。指揮活動も「フィルハーモニックウィンズ浜松」や「シエナ・ウインドオーケストラ」をはじめ幅広く行っているが、特に、アマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を50年以上もの長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。2017年からは、保科洋指揮法クリニックを兵庫県加東市で主催し、全国のスクールバンドや市民音楽団体指揮者にアマチュア演奏団体を指揮するための指揮法の指導を行っている。このような長年にわたる教育・指導活動が評価されて、平成27年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与された。また、平成28年度春には兵庫県文化功労賞を授与された。兵庫教育大学名誉教授、浜松アクト音楽院吹奏楽部門音楽監督、フィルハーモニックウィンズ浜松音楽監督。

東京佼成ウインドオーケストラ

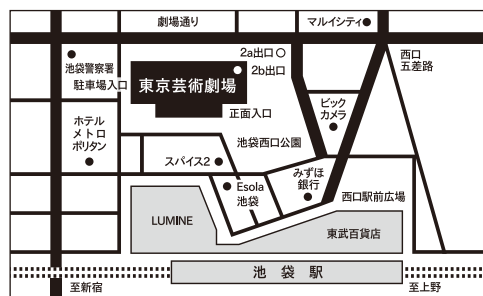
Tokyo Kosei Wind Orchestra



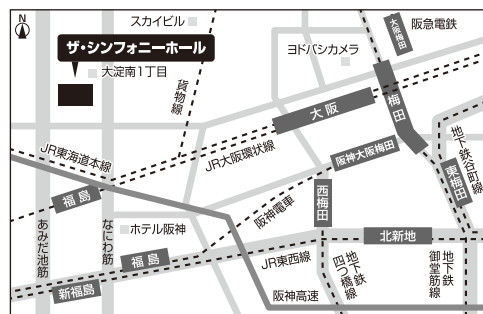
©Atsushi Yokota

1960年（昭和35年）5月、立正佼成会附属の「佼成吹奏楽団」として発足、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称した日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、テレビ・ラジオに出演し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。2020年に楽団創立60周年を迎え、同年1月より大井剛史が正指揮者、トーマス・ザンデルリンクが特別客演指揮者、飯森範親が首席客演指揮者、藤野浩一がポップス・ディレクターに就任。

ACCESS



※東京芸術劇場には、託児サービスがございます。詳細はTEL 0120-415-306(9:00～17:00/土・日・祝を除く)へお問い合わせください。



お問い合わせ

東京佼成ウインドオーケストラ事務局

TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/>